

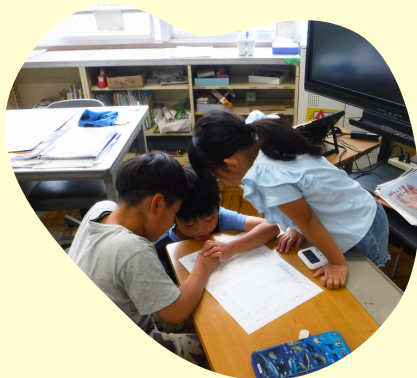
11.12
Wed.

学び創造研究会

共同研究者
信州大学
伏木久始先生

飯田市立 千栄小学校

自分に合った学び方で主体的に学べる子ども
～子どもたちに合った学びの場を模索して～



Schedule

- 13:20～13:30 受付
- 13:40～13:50 はじめの会
- 14:00～14:45 授業公開
- 14:55～15:15 全校活動キッズワールド
- 15:25～16:35 授業を語る会
- 16:35～16:45 まとめの会

竜東学園飯田市立千栄小学校
担当 塚田 晃裕（教頭）
電話 0265-59-2020

ようこそ千栄小へ

〒399-2223

飯田市千栄1530-1

Tel 0265-59-2020

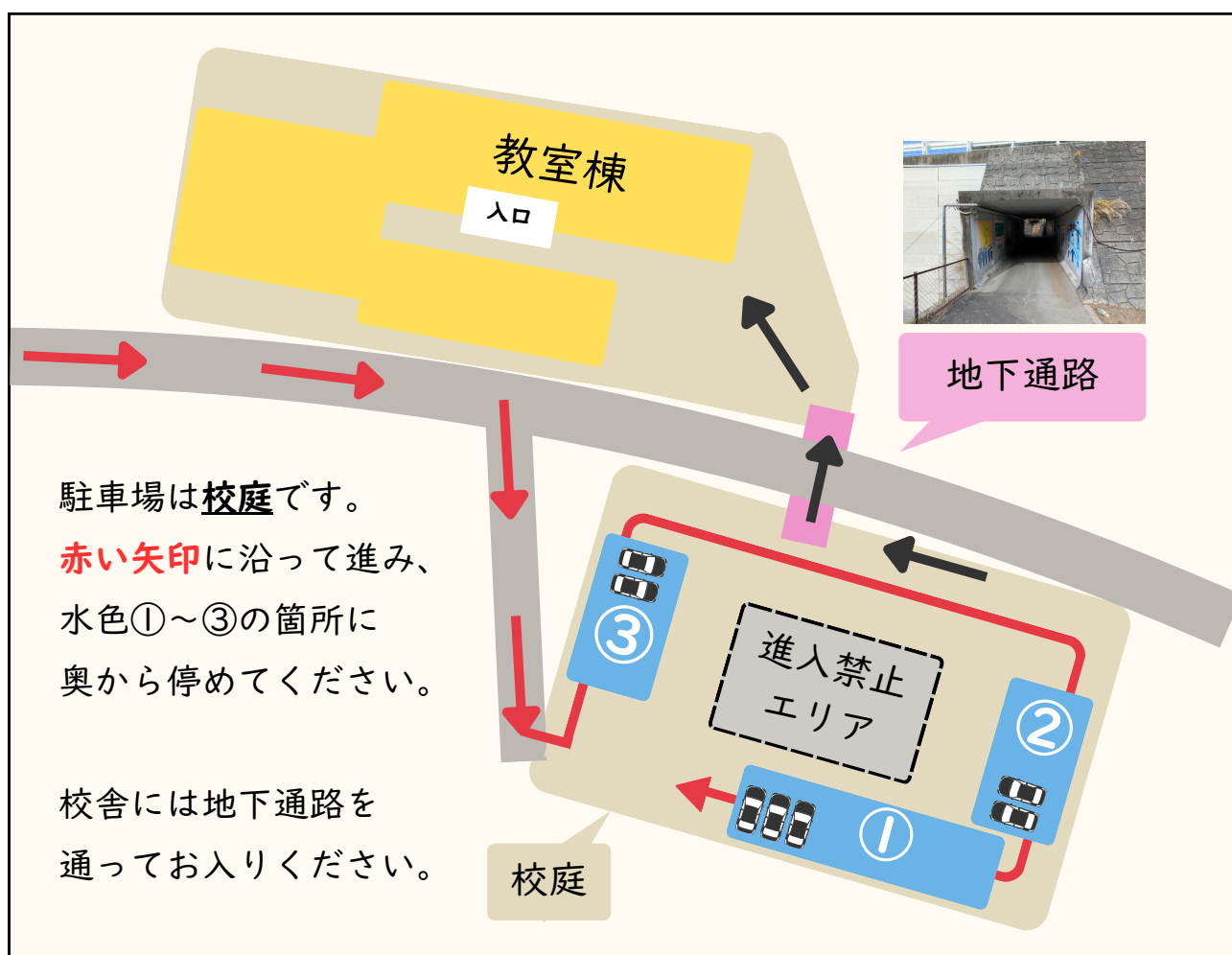
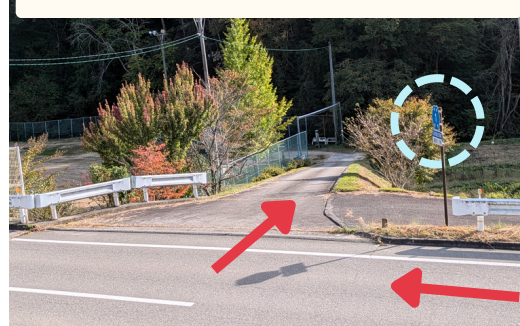
Fax 0265-59-2179



創立150周年



校庭へ入る道（青い標識が目印）



つながりの中で育つ子どもたち

🔗 一部教科担任制を取り入れた時間割

連学年・全校

得意を活かした教科担任制

本校では、音楽・体育・図工・家庭科・生活・総合で連学年授業を行っています。また、年に2回の全校図工（造形活動）、体育では水泳やマット・跳び箱の単元で全校授業をしています。担任の得意教科を活かし、1年担任が1・2年、5・6年の図工を、4年担任が5・6年の家庭科を、6年担任が1・2年の体育を持つなど、教師の得意を活かした一部教科担任制を取り入れていきます。



🔗 全校活動①



少人数だと難しい・マンネリ… じゃあ、みんなでやろう！

毎週月曜日の朝は、全校でランチルームに集まりドリルをしたあと、朝の会を行っています。当番は6年生から1人ずつ順番に、2学期からは1年生もやります。担当の先生も毎週輪番で回します。

縦割り班での活動も積極的に行っている本校。月曜日と木曜日の縦割り清掃や身体測定・保健指導など、高学年が低学年の面倒を見たり一緒に活動したりすることが当たり前になっています。

🔗 全校活動②

児童会主催の全校遊び キッズワールド

毎週木曜日の休み時間は、児童会が主催する全校遊びタイム「キッズワールド」。みんなが楽しめる遊びを6年生が考え、進めてくれます。鬼ごっこ、ハンカチ落とし、ドッジボール、カルタなど内容もさまざま、先生たちは周りでニコニコ見守っています。



🔗 他校との交流①



学年に応じた交流

竜東学園3校（千栄・千代・上久堅）では、子どもたちが互いに学び合い、豊かな人間関係を築けるよう、各学年に応じた交流を行っています。1・2年生は3校交流会でレクを行い、仲を深めます。3～6年生は社会見学や修学旅行などを合同で実施し、共に学び合う中で、協力することの大切さや集団行動のマナーを身につけています。



飯田市立千栄小学校



全校児童二十三名、二・三年複式、
来年度は一・二年、三・四年複式見込

📌 他校との交流②

オンライン授業 合同授業

千栄・千代・上久堅の3校では、年に数回オンライン授業を行っています。教科はさまざまですが、学校の紹介をしあったり、調べたことを発表したり、道徳でいろいろな考えに触れたりする機会にしています。また、千代小とは昨年度から合同授業も始めました。行きは保護者に送迎していただき、朝から給食まで一緒に授業や生活をします。実際に会って学習をすることで、普段はできないグループ学習ができ、休み時間に一緒に遊んで仲を深められる貴重な機会になっています。



📌 地域との関わり①



わらび採り・販売

毎年4月に、全校でわらび採りをしています。地域の方が貸してくださっている広い土地で、子どもたちはたくさんのわらびを採ります。採ったわらびは、給食に出してもらうほか、PTAの方と5・6年生で市役所や合同庁舎に販売に行きます。地域の方もわらび販売を楽しみにして下さり、毎年完売しています。わらびを売ったお金はスキー教室の費用に充てたり、熊鈴の購入をしたりするなど、子どもたちの教育活動に使われています。

📌 地域との関わり②

農家民泊（ふるさと子ども夢学校）

平成21年度より始まりました。竜東学園3校の5・6年生が地域の方のお家に宿泊し、農業体験をします。以下子どもたちの感想です。

- ・ぼくの父さんもきゅうりを作っているけど、今まで手伝うことはなかったの、次から体験したことを活かして手伝いたいです。
- ・どうやったら効率よくすばやくできるのかなと作業をしました。仕事ってこういうことなんだなと思いました。
- ・この夢学校で、農家さんの大変さや友達と一緒に協力して農作業をする楽しさが分かりました。



📌 地域との関わり③



みんな大好きな地域の方と 一緒に学ぶ

1・2年生の大豆作り、5年生の米作り、6年生の千代ネギ作り、クラブ、読み聞かせなど、さまざまな活動で、地域の方にお手伝いいただいています。今年度、3・4年生は太田農園へ行き農業体験で梨狩りをさせていただきました。子どもたちは毎年お世話になる地域の方とすっかり仲良しで、「いくちゃばあちゃ」「ともちゃん」と、親しみを込めて呼んでいます。ときには子どもたちより、お手伝いの地域の方の人数の方が多いいということも。子どもたちの活動に快く協力してくださる地域の方たちに支えられています。

～昨年度までの様子～

学習ガイドを使った 学習スタイル

3年前に複式学級ができてから、学習ガイドを使った授業を行ってきました。子どもたちが主体となって授業を進めることで、教師に言われたことをやる受け身の姿勢が変わってきました。一方、学び合いが単なる発表で終わってしまったり、友達の考えを聞いて分かった気になってしまったりする子がいるなどの課題もあります。そこで、自由進度学習にも取り組み始めました。



すぐに先生に助けを求めて しまう子どもたちと 手助けしすぎてしまう教師

普段の授業の中で、子どもたちは困ったことがあるとすぐ「先生!」と聞いてきます。また、教師も子どもたちの様子がよく見えるため、子どもから助けを求められる前に支援してしまうことがあります。すべての子どもたちへ、きめ細かい指導ができる反面、子どもたちが自分で考える力を伸ばすことの難しさを感じています。



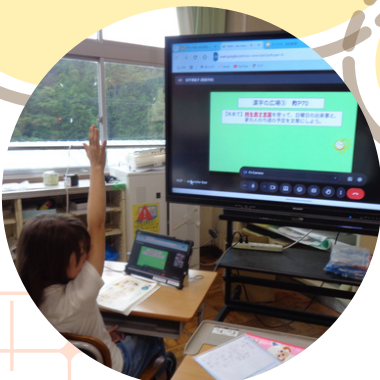
【研究テーマ】

自分に合った学び方で主体的に学べる子ども
～子どもたちに合った学びの場を模索して～

～1学期の取り組みの様子から～

1人の学年でどう学ぶか

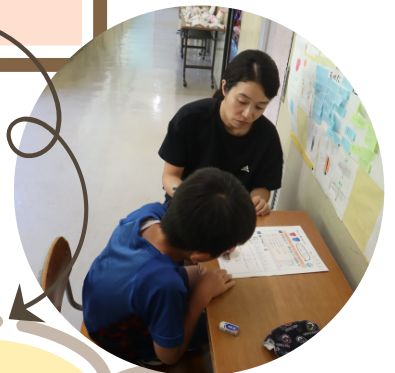
今年度は3年が1人。連学年の授業もありますが、国語や算数では学び合いが難しく、常に、対教師になってしまいます。学んだことを他の学年に発表したり、似たような単元を2年生と一緒に学習したりするほか、他校とのオンライン授業、合同授業も積極的に行ってきました。ただ、すべての単元がそのようにできるわけではないため、一人で学習していることへの寂しさや学習が深まらないといった難しさが見えてきました。



少人数の強みを生かした 柔軟な学びの場

2・3年生の複式学級では、基本的に国語と算数で担任が複式授業を行っています。しかし、単元の内容によっては1つの学年に集中して指導したいときもあります。そんなときは、もう一方の学年が4年生の教室へ。単学年で集中して指導を行うことができます。

また、一人学びをする場所もさまざま。ローテーブルやパーテーションで区切ったスペース、廊下や別室で行うこともあります。



第1回ちはチャレの様子

全校自由進度学習「ちはえっ子チャレンジタイム」＝「ちはチャレ」の様子です。1年生は初めての自由進度学習、2年生以上は初めての2教科同時進行。子どもたちも、わたしたち教師にとっても初めてのチャレンジとなりました。

1年生

算数「おおきさくらべ」

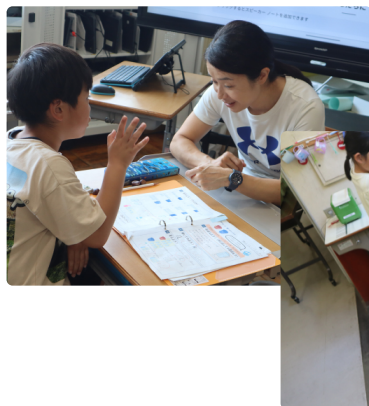
1年生は算数「おおきさくらべ」の単元を行いました。自分で計画を立てて授業に取り組むという初めての経験に戸惑いながらも、自分のペースで学んでいくことを楽しんでいる姿が見られました。

反省点としては、学習プリントの問題がわからない時の支援が足りず、チェックポイントで教師が解説する場面が多くなってしまったことが挙げられます。全員の子どもが、「頑張れば自分一人で問題を解くことができる」場を設けるためには、ヒントコーナー等の充実がより一層求められることがわかりました。



2年生

国語「ことばあそびをしよう ほか」 算数「かさ」



2年生は、国語の3つの小単元と算数を組み合わせて行いました。国語では、ことばあそびを友達や先生に聞いてもらう活動を入れ、書く活動に偏らない工夫をしました。算数では、さまざまな入れ物を用意し、水を入れる実験を通してLやdLの量感をつかめるようにしました。写真やイラストを使った分かりやすいプリントや掲示物を心掛けましたが、読むことが苦手な児童にとってはやはり難しさがあり、音声での読み上げなど、さらなる工夫が必要だと感じました。



3年生

社会「飯田市について調べよう」 図工「空きようきのへんしん」

3年生は1人ですが、ちはチャレでは4年生と一緒に図工をやったり、2年生が「どんなもの作ったの？」と見に来たり、縫いものをする5年生の隣で社会のプリント進めたりと、他学年と関わり合いながら学習を進める姿がありました。振り返りにも「いつもは1人だけちがうことをしていて嫌だったけど、今回はみんなバラバラだったから安心した」とあり、全校でやる良さを感じていました。



4年生

社会「わたしたちの県」 図工「空きようきのへんしん」

各教科の進み具合やその日の気分によって計画を修正しながら、その日やることを自分で決めて学習に向かっていました。分からない問題も諦めずじっくり向き合う姿が見られ、「図工を楽しみにして社会を頑張った」と、2教科実施のよさが出ていました。一斉授業ではさらっと流れてしまうところでも、それぞれが興味や疑問をもったことについて、予想したりさらに調べたりする時間がとれ、その内容については、単元が終わっても子どもの中に残っている印象です。一方、教材の工夫や教師の出、チェックポイントでのやり取り等まだまだ改善していくべきことがあるなど感じました。



5年生

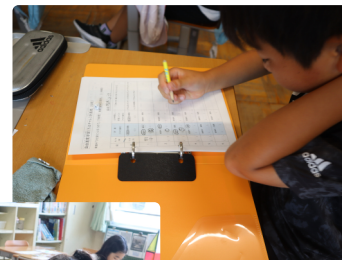
算数「合同な図形」

家庭科「ひと針に心をこめて」

2教科の学習にあたり、算数を単元前半に集中する計画を立てる子、交互に学習の計画を立てる子と様々な取り組み方で5年生のちはチャレがスタートしました。分からないところは動画教材を確認したり、友達に聞きに行ったりする姿がありました。

「ちはチャレ」に取り組んで良かった点は2つあります。1つは、各自で取り組む教科が異なることから、進度差を気にせず自分のペースで取り組めること。2つ目は教師の「チェック」の時間で問答形式の応答を通して、一人一人の学習の理解度を把握しやすかったことです。

課題としては、魅力的な発展学習の設定が挙げられます。

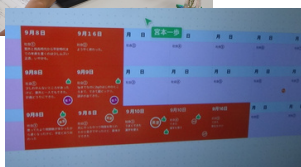


6年生

社会「天皇中心の国づくり」

家庭科「ひと針に心をこめて」

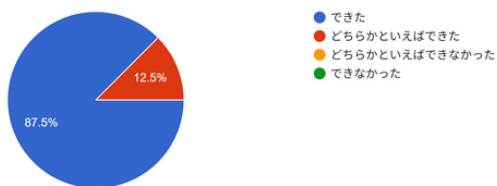
机上での調べ学習中心の社会科と技能中心の家庭科をバランスよく計画し、飽きがこないように計画を修正しながら進めていく姿がありました。ICTも有効活用し、分からない時も自分で調べて解決しながら学習を進める習慣が少しずつ身についてきたように思います。また、それぞれの単元ゴールに対しての進捗を表にチェックし（左写真）目に見えるようにすることで、計画の修正も容易になりました。改善点としては、「どんどん進めていきたい」という気持ちから、学習したことがしっかり定着していないと思われるところです。



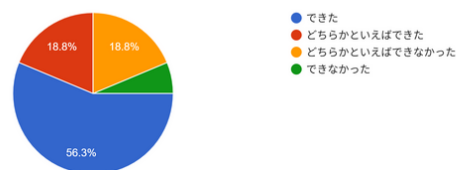
第1回ちはチャレ成果と課題

子どもたちのアンケートから ※2～6年生16名

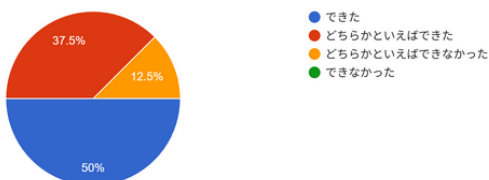
①ちはチャレでは、自分で考えて取り組みましたか。



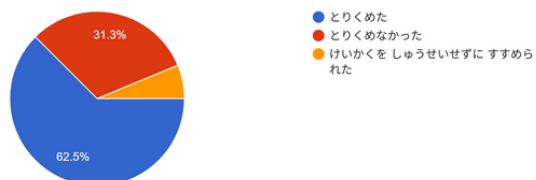
②集中して取り組める場所を選んできましたか。



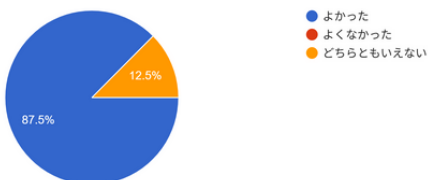
③問題が分からないときに、自分でじっくり考えたり、友だちに聞いたりできましたか。



④決められた時間内に終わるように、計画を修正しながら取り組みましたか。



⑤2教科一緒にやったことは、どうでしたか？



⑤の理由（代表的なもの）

- ・自分がやりたい方を選べたから。
- ・進み具合でやる順番を決めて、自分のスピードでできたから。
- ・楽しい教科と難しい教科があったけど、頑張れた。
- ・いつもは1人だけ違うことをしているけど、ちはチャレはみんなバラバラだから、安心した。

子どもたちのアンケートからは、ほとんどの子が自由進度学習へ対して前向きに取り組めたという結果になりました。また、2教科同時に進めたことも、自分で計画を調整しながら学べたことがよかったようです。

職員の振り返りから

【成果】

- 自分のペースでできるため、どんどん進んで発展学習まで取り組めた子と、ゆっくり自分のペースで取り組めた子がいた。
- 2教科同時に行ったので、人と比べずに自信をもって自分のやることに取り組むことができていた。
- 全校で自由進度学習に取り組んだことで、いつも1人で学習している3年生も安心して学習できていた。
- 全クラスで取り組み、全職員で相談しながら準備することができ、成果や課題について共感しながら進められた。



【課題】

- 最後まで終わらなかった子がいた。
- チェックの内容が曖昧になってしまい、子どもたちの理解度を十分に確かめられずに進んでしまった。
- 教師の出のタイミングが難しかった。

【共同研究者 伏木久始先生より】

- 自分の力で取り組む姿勢を育てたい。分からないときは自分から聞きに行く。
- 自分の力でやるのが難しい子に、ヒントカードや動画など、学習材の工夫を。
- 教師のチェックでは、口頭や別問題で、学習内容の理解度を確かめる。



【第2回ちはチャレに向けて】

- 子どもたちが自分の力で取り組めるように、基本的には見守るスタンスをとる。
- 「あの子」も最後まで終わるようなプリントや掲示、具体物の準備をする。
- 学習内容の理解度を確かめられるようなチェックの準備をする。

第2回ちはチャレ

11月10日～スタート！

公開当日は第3時を予定しています。

学年 (人数)	担任 (教科担任)	教科 (時数)	時数計	単元名
1年 (7名)	野村聡一郎	国語(8)	8	「じどう車くらべ・じどう車ずかんをつくろう」
2年 (3名)	細田愛 (理科：塚田晃裕)	国語(14)	14	「紙コップ花火の作り方」(6) 「おもちゃの作り方をせつめいしよう」(8)
3年 (1名)		算数(7) 理科(6)	13	「重さ」 「ものの重さをくらべよう」
4年 (3名)	富田綾 (理科：楯百合子)	算数(9) 理科(10)	19	「面積」 「電流のはたらき」
5年 (6名)	櫻井大幹 (家庭科：富田綾)	国語(6) 家庭科(10)	16	「方言・共通語」「和語・漢語・外来語」「複合語」 「ミシンにトライ」
6年 (3名)	川元真治 (家庭科：富田綾)	社会(7) 家庭科(10)	17	「徳川幕府と政治の安定」 「ミシンにトライ」

【研究会で話題にしたいこと】

- 子どもたちが主体的に学んでいる姿について
- 自分の力で学ぶことが難しい子への配慮(学習プリント・掲示物・進め方の選択等)について